



力強く担がれた大筒御輿が街中で踊る！

9月15日(土) 16日(日) 歴史を伝える 本物の熱気

伝統の田原祭りが、9月15日・16日に開催されました。初日は、お囃子と共に萱町・新町・本町の3台の昼山車に、巴江・衣笠を加えた5町の御輿が街を練り歩いたほか、夜には、はなとき通りに初めて5町の夜山車が集結し、大いに盛り上がりました。2日目は、雨が降ったりやんだりのあいにくの空模様でしたが、天候に負けず元気良く大筒御輿を担ぐ勇敢な姿が見られました。フィナーレは、手筒・大筒花火、続いて打ち上げ花火が披露されました。



選手とボランティア、それぞれが感動を分かち合いました

9月9日(日) “鉄人” 伊良湖に集う！

自然豊かで風光明媚なコースの設定と、沿道からの温かい声援が選手たちに人気のトライアスロン伊良湖大会が、伊良湖岬周辺で開催されました。全国各地から集まった約900名の鉄人たちは、持ち前の“体力”と“気力”に加え、福江高校の生徒をはじめとした多くのボランティアからの“支え”を武器に、自分の限界や記録更新に挑んでいました。こうして生み出された鉄人たちによる“熱きドラマ”の数々は、訪れた観衆を沸かせていました。



元気良く菜の花の種をまく園児

9月11日(火) いっぱい咲いてね きれいな菜の花

吉胡町の遊休農地で、蔵王幼稚園の園児たちによる菜の花の種まきが行われました。これは、NPO法人田原菜の花エコネットワークが、種まき体験を通じて、地域の環境と食に関する理解を深めてもらおうと昨年からはじめたもの。園児らは、畑一面が黄色い花畑になるよう、心を込めて種をまいていました。早ければ11月下旬に開花し、2月ごろまで観賞できます。なお同園では、開花後の花を収穫し、鑑賞したり食用にしたりして楽しめます。



大正琴による「荒城の月」「古城」などの演奏に思わずうっとり

9月22日(土) 田原城跡で 秋の夜のひととき

田原城跡で毎年恒例の田原城跡月見会を開催しました。これは、田原市博物館の開館以来14年間続いている行事で、秋の夜に500年余の歴史を刻む田原城跡で月見のロマンを楽しんでもらおうというもの。訪れた人たちは、館内に設けられた表千家みちの会による茶席で抹茶や和菓子を味わったり、月明かりの下、カサブランカ(文化協会加盟団体)による大正琴の演奏を聴いたりしながら、城跡での情緒ある一夜を満喫していました。